

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] (103) 隣保事業推進事業費

[評価年月日] 平成12年11月14日

[主担当部課名] 生活部 同和課

[記入課名・課長名・電話] 同和課長 長田 芳樹 059-224-2293

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：(- 1) 人権の尊重

施策：(2) 同和対策の推進

総合計画の目標項目 生活状況

波及効果 副次的効果を及ぼすと考えられる施策 人権施策の総合推進

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去、現状、将来)

30年にわたる特別対策事業の展開により、同和地域と周辺地域の住民に意識格差が生じてきている。住民交流を促進し、隣保館を周辺地域を含んだ開かれたコミュニティセンターとしての役割を果たす必要がある。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

同和地区住民及び周辺地域住民に対して、生活の社会的、経済的、文化的向上を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)

定期的に行われる県民意識調査に基づき、理解率を測定する。

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

啓発推進度が指標化できないため、上記代替指標とする。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

部落差別を解消し、同和地区住民の基本的人権が保障された、人権が尊重される差別のない社会を実現する。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

「隣保館事業費補助金」「隣保館運営費補助金」「生活相談員設置費補助金」等の補助事業の実施により、各隣保館で活発な事業展開がなされた。

前年度に残った課題

隣保館活動のより一層の活発化。

4-(2) 本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

補助事業メニューのPRによる相談事業等の充実。

2級ホームヘルパー研修の実施に伴う介護相談機能等の充実

本年度残ると思われる課題

周辺地域も含めた人権啓発等の拠点施設としての機能の充実

5 基本事務事業の改革方向

地域それぞれのニーズにあった事業展開を市町村と協議しながら推進していく。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10年度)	5 0		_____	3 9 5 , 3 7 4 2 , 9 4 6	4 0 7 , 6 9 0
前年度 (H11年度)	6 0		_____	4 1 8 , 9 9 0 3 , 1 0 7	4 3 1 , 8 8 7
本年度 (H12年度)	6 0		_____	4 0 9 , 8 6 3 3 , 1 0 7	4 2 2 , 8 8 1
本年度補正後 (H12年度)			_____	+(or ▲) +(or ▲)	+(or ▲) ▲
翌年度 (H13年度)	6 0		_____	4 2 0 , 6 5 6 3 , 1 0 7	4 3 3 , 6 7 4
計画目標年次 (H 年度)	1 0 0		_____	_____	_____

7 翌年度(H12年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

[illegible]